



「こんにちは 市長です」 3月1日号

2月の記者会見は特別なテーマはなく3月議会の議案(39議案が提案される)説明が淡々で行われた。総務部長が行う。教育委員の任命から市道路線の廃止認定まで、どれも大事だが中心は新年度の一般会計予算である。予算と言えば国会の予算審議はめちゃくちゃ。ある新聞は「荒涼たる国会」と評した。あんな審議をしていて100兆円を超える予算が決められていく。みっともない。仮に地方議会の予算委員会で似たようなことをやっていたなら市民から見放される。だから、国会のまねはしない。

議案説明が終わった後「おうかがい市バス」について記者から質問、朝令暮改の指摘である。来るだろうとは予想していた。自分でも「ひどくまずい」と感じていた。「ドア to ドア」はいいとして、肝心の料金である。3つの地区に分ける。複数人を乗せるには動くエリアは狭い方がいい。買い物は片道300円。地域外でサークル活動などをする場合、片道500円。帰りはサークルの仲間にも送ってもらえば500円で済む。私が「ドア to ドア」を言い出して担当はいろんなケースを考えて検討してきた。出てきた案に「それでいこうや」と料金を含めて1月20日の広報に載せた通り承認した。ところがである。「サークルで往復したら千円、高い！」という反応。聞き取りをやってみたが「高いね」と言う声ばかり。確かに高いのである。議会に地区内200円、地区外300円に変更を報告。まさに朝令暮改である。大反省をした。そのことを記者たちに話すと苦笑いしていた。

昨年、交通手段を持たない真の交通弱者調査をした。380人にタクシー券の配布、お茶の間カフェへの送迎ボランティアの方に買い物のお手伝い、ふれあい相談員の方に年に一度の特定健診のお手伝いをお願いしている。